

7 平成 26 年度 横浜市立図書館の目標と振り返り

※数値は平成 26 年 12 月末現在

目標1 司書の専門性を発揮したサービスを充実します。〈サービス目標〉		
取組項目	具体的取組	実施状況
蔵書再構成5か年計画の実施 評価C	<ul style="list-style-type: none"> ・現計画の達成状況を振り返るとともに、次期計画を策定します。 ・定番図書など市民の課題解決に役立つ資料の重点収集を継続します。 ・寄贈図書の積極的な受入を推進します。 ・除籍資料の有効活用を推進します。 ・地域資料等の収集及びデジタル化を進め、利用の拡充を図ります。 ・子どもの本コーナー、ティーンズコーナーでは、調べ学習や読書活動支援のための定番図書、参考図書の充実を進めます。(通年) ・「横浜市民読書活動推進計画」により、読書推進に資する図書の充実を図ります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現計画の大まかな振り返りを行いました。詳細な振り返りは、統計数値が確定する平成 27 年度に実施します。次期計画「横浜市立図書館蔵書5か年計画」を策定しました。(2月) ・全館で行う蔵書補強の取りまとめを行い、3,546 冊の参考図書等の受入を進めました。(対前年度比 93% 参考:前年度 3,777 冊) ・恒常的な寄贈の呼びかけと、周年事業における寄贈事業により、52,287 冊の図書及び雑誌を受け入れました。(対前年度比 107%) ・110 団体へ、再活用図書 5,703 冊を提供しました。(対前年度比 14 団体増 参考:提供冊数対前年度比 1,017 冊増) ・アクセス件数「都市横浜の記憶」268,472 件(対前年度比 120%)「地域情報ポータル」16,965 件(対前年度比 185%) ・子どもの本、ティーンズ向けに 32,903 冊を受け入れました。(対前年度比 112%) ・「横浜市民読書活動推進計画」に基づき図書を購入しました。(3,036 冊) ・地域資料の収集につとめ、地域の情報コーナーの充実を図りました。
子ども読書活動の支援 評価B	<ul style="list-style-type: none"> ・「横浜市立図書館児童サービス5か年計画」の達成状況を振り返るとともに、次期計画を策定します。 ・子どもの読書活動や調べ学習を支援する展示や企画事業を実施します。 ・保護者、保育者、ボランティア等、対象に応じた読み聞かせやわらべうたに関する講座を実施します。 ・児童サービスの向上のために、司書を対象とした児童サービスに関する研修を実施します。 ・関係部署と連携し、学校図書館運営や環境整備に関わる教職員や学校ボランティア等を支援します。また、学校での読書活動推進を支援します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現計画の振り返りを行い、次期計画を策定しました(2月) ・子どもの読書活動や調べ学習を支援する事業の実施回数 1,243 回(対前年度比 82%)、35,356 人(対前年度比 112%) ・保護者・保育者向け読み聞かせ講座の実施回数 24 回(対前年度比 61%)、518 人(対前年度比 34%) ・教職員に向けての支援件数 1,065(内レファレンス 895)件 (対前年度比 268%) ・ボランティアに向けての支援件数 108 件(対前年度比 90%) ・教職員向け貸出 2,014 件・45,780 冊(対前年度比 96%) ・新たな取組として祖父母向け読み聞かせ講座を実施しました。
市民の学習活動・課題解決の支援 評価B	<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンスサービスの PR・広報に努め、市民の課題解決を支援します。 ・市民の学習活動や課題解決を支援するため、様々な講座や企画展示等を実施します。 ・課題解決に役立つ情報提供を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・レファレンスサービスについて案内表示を出すなど、広く市民に広報しました。地域情報コーナー、子育て支援コーナーなどすでにあるコーナーの充実を図りました。 ・課題解決支援のための市民向け講座及び展示の実施回数 641 回(対前年度比 92%) ・レファレンス事例データベースを公開しました。(12 月) ・全館でシニア大学に講師を派遣し、高齢者向けの図書館利用講座を実施しました。
地域と連携した読書推進活動の充実 評価B	<ul style="list-style-type: none"> ・区の地域性に応じた読書活動を推進します。 ・地域と連携した企画事業の実施や図書資料の活用により、地域の読書活動を推進します。 ・地域や図書館で活動するボランティアの支援や育成を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各図書館で区役所等関係機関と連携し、区の読書活動目標を策定しました(3月全区で策定予定)。 ・区役所等と連携し読書推進に関わる事業を実施し、読書活動を推進しました。 ・地域と連携した企画事業の実施回数 634 回(対前年度比 76%) ・修理等ボランティア講座の実施回数・参加人数 55 回・1,017 人(対前年度比 100%・113%) ・グループ貸出冊数 28,771 冊(対前年度比 111%) ・団体貸出冊数 51,511 冊(対前年度比 86%) ・読書に関するボランティアの活動回数 731 回・参加人数 2,332 人(対前年度比 91%・120%) ・読書環境を整備するボランティアの活動回数 1,688 回・参加人数 5,531 人(対前年度比 94%・92%) ・11 月 2 日に横浜市読書活動推進ネットワークフォーラムを実施し、読書活動の推進に努めました(総入場者数 3,600 人、ボランティア向け講座開催 6回・312 人、パネル展示 2回、おはなし会開催 5回・480 人)
多文化サービスの展開 評価B	<ul style="list-style-type: none"> 外国につながる子どもたちの図書館利用を進めるため、市民と協働して外国文化を紹介する展示や外国語での見学会・おはなし会等の企画事業を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国につながる子どもたちを対象とした事業件数・参加人数(母語によるおはなし会 3回・113 人、対前年度比回数 100%)の他、地域と連携した外国の文化を紹介するおはなし会や講演会、企画展示等を計 32 回、参加人数 529 人実施しました(対前年度比回数 86%)。 ・地域特性に合わせて外国語資料を収集しました。 ・在住外国人を対象として、図書館利用を促進するための広報や企画事業を実施しました。

目標2 効率的で効果的な図書館の管理運営を推進します。〈管理運営目標〉		
取組項目	具体的取組	実施状況
司書人材育成計画に基づく人材育成の推進 評価C	司書人材育成計画に基づき、司書の専門性を高める研修を実施します。また職員は積極的に研修に参加し、自己研さんに努めます。	・図書館内のみならず、外部で行われる研修にも積極的に参加し、司書の専門性向上や業務に必要なスキルを学びました。 ・専門的な研修実施回数(24回) ・職員の研修参加回数(延べ413回)
地域図書館の管理運営手法の総合的検討 評価C	・市内図書館指定管理者選定評価委員会を開催します。 ・指定管理者制度の評価や司書補助業務委託の実績を踏まえて地域図書館の効果的・効率的な管理運営のあり方について、さらなる検討を進めます。	・市内図書館の指定管理者制度の評価や地域図書館の業務委託の検証を踏まえ、今後の地域図書館の効果的・効率的運営の方向性について、全庁的に調整を進めています。 ・委託業者との連絡調整を推進しました。
市民の意見が反映される仕組みづくり 評価C	利用者懇談会・ボランティア団体等の交流会等の実施により、市民の意見を反映できる仕組みづくりを推進します。	全館で利用者懇談会またはボランティア交流会を実施し、市民の意見を積極的に活かす取組を進めました。(57回・対前年度比102%)
身近で便利な図書館サービスの充実についての検討 評価C	図書取次サービスを中心とした図書館サービスポイントの整備計画を検討します。	図書館サービスポイント整備において、既存市民利用施設などを活用した図書取次サービスの検討を進め、平成27年度(28年1月)には、港南台地区センターでのモデル事業を開始する予定です。
市立図書館における業務内容の見直し 評価C	・「横浜市立図書館アクションプラン」の達成状況を振り返るとともに、次期計画を策定します。 ・自主財源の確保及び経費の節減を図り、広告事業等歳入確保について継続的に実施します。 ・図書館情報システムの円滑な運用を推進し、より使いやすいシステムになるよう検討・改修を進めます。	・現計画の振り返りを行いました(8月)。この結果と新たな課題を踏まえ次期計画の策定を行います(3月)。 ・効率的な広告事業の展開について検討を行いました(8月)。歳入確保額及び節減額4,544千円(対前年度比88%) ・業務効率の向上を目的とした図書館情報システムの改修を実施しました(2月)。

目標3 市民にとって利用しやすい快適な図書館づくりを進めます。〈独自目標〉		
取組項目	具体的取組	実施状況
市民への広報の充実 評価C	・ホームページ・メールマガジン等の広報媒体を有効に活用し、わかりやすい情報提供を進めます。 ・情報発信を迅速に行い、必要としている市民に的確に情報が届くよう努めます。	・広報掲載実績853件(対前年度比118.5%) ・ホームページアクセス件数5,567,525件(対前年度比101.3%) ・図書館トップページの構成と内容を見直し、求める情報を的確に提供できるよう改善しました(2月)。 ・ホームページで一般向けの本の紹介サイト「図書館の本棚から」を開設し(10月)、同サイトの情報をメールマガジンでも紹介しました。 ・図書館で活動するボランティア向けのメールマガジンの配信を開始しました(10月)。 ・地域情報のページの新設や各種広報媒体での記事の連載など、広報活動を積極的に行いました。
利用しやすい図書館環境の整備 評価C	・図書館における窓口サービスや電話対応の向上について、職場で討議し、目標をあげて取り組みます。 ・書架や施設の案内について、よりわかりやすい掲示を行います。 ・災害発生時にすみやかに対処できるよう、危機管理体制の充実に努めます。	・各図書館で朝会などを活用し、情報共有とサービスの向上に努めました。 ・サインの見直しや書架表示の更新等を行い、利用者が求める情報を迅速に得られるように工夫しました。 ・空調工事・外壁工事など老朽化した施設の改修を実施し、快適な図書館環境を整備しました。 ・全職員に対して接客マナー向上に向けた研修を実施しました。(12月) ・防災訓練等の実施(全館で年2回、9月・1月) ・節電・省エネルギーに努め、電力消費量を削減しました。

取組の評価について

※評価は図書館内の評価です

評価	内容
A	優れた取組があり、目標を大きく上回る成果があった。
B	目標どおり取組を実施し、目標を上回る成果があった。
C	目標どおり取組を実施し、一定の成果をあげた。
D	目標どおりの取組ができなかったため、十分な成果をあげることができなかった。
E	実施できていない。課題の整理、計画の見直しが必要である。